



ジェフリー通信

すずか

SUZUKA 女性活躍推進フォーラムを開催します！

本市では、民学官が一体となって女性活躍推進に取り組んでいます。今年度は鈴鹿市シティセールス特命大使の浅尾美和さんをお招きし、SUZUKA 女性活躍推進フォーラムを開催します。

第1部

スペシャル
トーク
14:00
|
14:45

SUZUKA女性活躍推進フォーラム
～キャリア形成とワーク・ライフ・バランス～

浅尾美和さん

トークイベント

入場
無料



芸能界の仕事と家庭・育児の両立の極意とは？

テーマ

「私らしく叶える～浅尾美和さんが語る、自分らしい両立の極意～」

本市出身の浅尾美和さんから、現在の生活の様子、仕事と家庭の両立の中で感じる苦労や困難の解決方法、ご自身のキャリアについてお話しいたします。

テーマ

「私らしく輝く～鈴鹿市で働く男女が語る、私らしいストーリー～」

様々な分野で活躍する方々に集まっていただき、多彩な話題や事象を取り上げるトークセッション。浅尾美和さんに鈴鹿市で働くおふたりを加え、舞台上の3人が、にぎやかに貴重なトークを繰り広げます。

登壇者



浅尾美和さん



河尻純平さん
鈴鹿医療科学大学
看護学科 准教授



山下妙子さん
富士フィルムマニュファクチャリング
株式会社

第2部

トーク
セッション
15:00
|
16:00

とき 2023年11月4日(土) 14時00分～16時00分 開場13時30分

ところ 鈴鹿医療科学大学白子キャンパス講堂(鈴鹿市南玉垣町3500-3)

定員 900名/入場無料/託児あり(要予約)

申込先 【電子チケットの場合】申込み参加フォームは右のQRコードから。

【紙チケットの場合】お電話でお問合わせください。

お問合わせ 鈴鹿市地域振興部男女共同参画課(ジェフリーすずか)

TEL: 059-381-3113 FAX: 059-381-3119

申込みフォーム



「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」に対処しよう

無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)とは…

私たちが気づかないうちに持つ「ものの見方や捉え方のゆがみや偏り」のことです。これは過去の経験や知識などに影響を受けて、考える以前に瞬時かつ無意識に「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされます。そのこと自体は問題ではありませんが、そこから生まれた言動が知らず知らずのうちに相手を傷つける、ストレスを与える…などネガティブな影響を及ぼすことがあるため、注意が必要です。

無意識の偏見を放置するとどうなる？

個人への影響

- *モチベーションの低下
- *疎外感・孤独感の増加
- *遠慮がちになる
- *イライラやストレスが増える

組織への影響

- *組織のパフォーマンスの低下
- *コミュニケーションの停滞
- *離職率・ハラスメントの増加
- *イノベーションが生まれにくい

身近なアンコンシャス・バイアス

こんなことを思った、言った（言われた）ことはありませんか？

『若者／高齢者はこうだ』『男子／女子はこうあるべきだ』

『障がいがあるひとは簡単な仕事しかできない』

『子どもが病気になったときは母親が休んだ方がいい』

『LGBTQ の人は周りにはいない』

『普通はこうだ』『それって常識だ』

無意識の偏見に対処するには？

「無意識の偏見」はいつでも、どこでも、誰にでも起こりうるものです。

まずは自分自身にも無意識の偏見があるということを知り、気づいたら修正するようにしましょう。

三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課発行

『「多様性」をプラスに～ダイバーシティ推進のためのヒント集～』

より一部抜粋

《明日から意識してみよう》



自分の中の「無意識の偏見」に対処する

- 自分の思い込み気づく
次のようなことを言ったり、思ったりしたことはありませんか？
ふり返ってみましょう。
「ふつうは〇〇だ/〇〇は常識だ」「無理だ/向いていない」
「そんなはずはない/そう決まっている」
- ひとつの情報で判断せず、確認する
相手に聴いてみる、他に情報はないかを当たってみましょう。
またそれは事実か、それとも推測かを自問自答しましょう。
自分の知識、意識、行動を上書きすることを心がけましょう。



相手の中の「無意識の偏見」に対処する

- 復唱、質問、言い換え表現を使い、さりげなく相手に気づきを促す
相手：「交渉事は女性には無理だ」
自分：「交渉は女性に無理だと思うんですね。具体的にはどのようなことが無理なのでしょう？」
- 相手の言動が他者に与える影響を伝える
相手：「男性が育休をとる必要はない。やめたほうがいい」
自分：「希望する人のモチベーションを下げるのでは？」
「そのような表現で本当に伝えたい理由がきちんと伝わるでしょうか？」

～ジェフリーふえすた 2023 を開催します～

開催日時:令和5年 12月2日(土) 10:00～15:00



現在、公募による実行委員会と事務局（男女共同参画課）が協働して準備を進めています。

今年のふえすたは、「ジェフリーすずか 2023～みんなの笑顔をつなげよう～」と題し、ジェフリーすずか登録団体をはじめ、市内高校の御協力のもと、様々な館内イベントを企画中です。

【↑実行委員会の様子】 また、内閣府の協力のもと理系進学についての基調講演も予定しています。企画内容の詳細は、広報すずか 10月20号や、男女共同参画センターHP、鈴鹿市公式 LINE 等で順次お知らせします。お見逃しなく！

お勧め図書のお知らせ

【子育てのイライラ・怒りにもう振り回されない本
—お母さんのためのアンガーマネジメント入門—
著：篠 真希（すばる舎）



子どものイヤイヤ、グズグズ、何度言っても聞かない…。
疲れているとき、嫌なことがあったとき、ときにどうしようもなく怒りが爆発してしまうことがある。
本当は怒りたくなんかないのに、ひどい言葉を投げつけたり、冷たくあたってしまったり…。
苛立ちや激しい怒りに支配された状態を、どうしたら切り抜けられるのか。怒りの感情を未然に防ぐことができるのか——。自身も二児の母である「母親向けアンガーマネジメント」のプロがやさしく指南します。

生理用品を無料で配布しています

様々な理由で困窮している女性に対して以下の場所で生理用品を無料で配布しています。※無くなり次第終了します。

- 【配布場所】
- ①健康福祉政策課（市役所本館 2 階）
 - ②市民対話課（市役所本館 2 階）
 - ③子ども家庭支援課（市役所西館 2 階）
 - ④社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会（神戸地子町 383 番地の1）
 - ⑤鈴鹿市男女共同参画センター（神戸二丁目15 番 18 号）



働く女性の健康応援サイトをご活用ください

近年、職場において女性特有の健康課題に対する関心が高まっています。

「働く女性の健康応援サイト」（厚生労働省委託：女性就業支援・働く女性の健康に係る情報提供事業）は、女性の「健康と仕事」に関する情報を、働く女性と企業の担当者双方に対して、提供しているサイトです。

女性特有の健康課題に関する情報のほか、Q&A、専門家コラム、職場づくりのためのポイントや企業事例などを掲載しています。また、どなたでもダウンロードが可能で事業所集合セミナーや社員研修などにご利用いただける研修用資料・動画一覧が追加されました。

健康に関する正しい知識や情報入手し、誰もがいつまでもイキイキと働き続けられるために、ぜひ「働く女性の健康応援サイト」をご活用ください。



詳細はこちらをご覧ください
<https://joseishugyo.mhlw.go.jp/health/>



女性のための電話相談

10月 October 2023						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

059-381-3118 (直通)



相談日：毎週火・木・金曜日

（第4金曜日・休館日を除く）

時間 10:00~12:00 (午前)

13:00~16:00 (午後)

- 女性の相談員が対応します。
- 相談は無料です。
- 相談内容などの秘密は厳守します。
- 必要に応じ、面接相談、市役所担当課等をご案内します。
- 話し中の場合は、時間をおいておかけ直してください。

○：相談日

鈴鹿市男女共同参画センター

(愛称：ジェフリーすずか)



〒513-0801

三重県鈴鹿市神戸二丁目 15 番 18 号

(かんべ再開発ビル3階)

TEL059-381-3113 FAX059-381-3119

E-mail danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp

ジェフリーすずか

検索

